

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶時事ネタを編集後記で触れると、読まれる時点ではどうしても鮮度が落ちるので、古臭い違和感を与えてしまうことを危惧して控えていましたが、敢えて後世への記録として残すのもよいのかなと改心しました。今月（2021年10月）から新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づいて首相が区域と期間を定めて発出する。宣言の要件として「全国かつ急速な蔓延」などを定める）が全国的に解除されます。ただし、私の勤務する栃木県などでは緊急事態宣言解除後の取組みとして2週間の「県版まん延防止等重点措置」を行い、飲食店等の営業時間の短縮等の要請等の協力が求められています。その理由として、警戒度レベルステージ4を脱したとはいえ、未だステージ3の状況にあり、油断せずに感染対策を行っていく必要があるからとされています。行動制限の緩和は段階的に行われます。ここで問題となるのが、このレベルステージとやらの定義が国版と自治体版で異なる点にあります。これは対応が各知事の裁量に任されているからです。ゆえに各都道府県で警戒度の中身が微妙に異なります。当然、県版だけでなく、区版や市版など、その下位の自治体ごとにも類似の定義があります。さらには、各大学や病院でも独自にレベルステージを策定しちゃっています。さらにさらには、同じ施設内でも臨床部門と研究部門では違う活動制限指針が適用されていたり……何がいいたいのかと申しますと、各地域や各施設に根差したキメ細かな対応マニュアルの作成は非常に重要だとは思いますが、余りにもシンプルに「今、警戒度レベルステージは3です」と言われても、一体どこが決めた定義によるものなのか分からず、杓子定規な気質のある私としてはとても混乱してしまいます。危険度を数値でパッと代表させるのは大事ですが、内容をイメージできなければ意味もない気がします（今回の場合では違いますが、レベル数値が上がると酷い状況なのか、レベル数値が少ない方が悪い状態なのか昇順と降順の並びの方向性が逆の指標も世の中にはありますし、全スケール中のどの段階なのか分かる人は、どれだけののでしょうか）。その他にも、状況が変わるとレベルステージの境界条件を臨機応変に変える（ゴールポストをずらす）ことも頻繁に行われており、過去の時点の数値と単純には比較できない、なんて問題もあつたりします。言葉や数値で真意を伝えるって、とても難しいですね。

▶毎回、同じ思いを開陳して申し訳ございませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切にする「臨床放射線」は特異な編集方針を持つ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てて頂ければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第66巻第11号

2021年10月10日発行（毎月10日発行）

定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 43,670 円（本体 39,700 円＋税 10%）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。